

被爆者がいない時代を考える～大切な平和を守り続けるための想像力の磨き方～

「平和を語る市民のつどい」を開催します

川崎市では、「核兵器廃絶平和都市宣言」の理念に基づき、学識経験者や戦争体験者による講演会などを通じて戦争体験を風化させず次世代に継承していくとともに、平和な地域社会の実現に向けた意識の高揚を図ることを目的として、「平和を語る市民のつどい」を開催してきました。

令和6年度は、被爆から80年を目前にして、広島・長崎の戦争時における具体的な事例を見るなど、「被爆者がいない時代を考える」～大切な平和を守り続けるための想像力の磨き方～をテーマに開催します。

1 名 称 平和を語る市民のつどい

2 日 時 令和7年1月26日（日） 午後1時00分～午後4時00分

3 場 所 川崎市平和館 屋内広場（中原区）

4 主 催 川崎市

5 共 催 川崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会
（横浜地方法務局川崎支局、川崎人権擁護委員協議会、川崎市）

6 主な内容

講演会

【講演テーマ】

「被爆者がいない時代を考える」

【講師】

一般社団法人 Peace Education Lab Nagasaki
代表理事
合同会社 mazatte 代表

林田 光弘さん



ワークショップ

「核兵器と戦争に関する16の問い展」

パネルを活用し、事前公募による市内の中高生たちの討議・発表の様子をご覧ください。



過去のワークショップの様子

7 観覧方法（無料）

【定員】150人

イベント告知ページの申込フォームからか、電話により申込。

※子どもの預かり（2歳～就学前）・手話通訳・要約筆記あり（要予約）

※後日オンラインで配信予定（イベント告知ページにURL掲載）です。





林田光弘氏（今回の講師）は、2016年から2020年にかけて日本被団協が呼びかけた「ヒバクシャ国際署名」でキャンペーンリーダーを務めており、2024年12月10日にノルウェー・オスロにて開催されたノーベル平和賞授賞式に被爆者とともに参加しています。



会場アクセス



- JR南武線・横須賀線・東急東横線・目黒線「武蔵小杉」駅から徒歩約10分
 - 東急東横線・目黒線「元住吉」駅から徒歩約10分
- ※ 駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください。

